



SL-7005
ハードロックの要求に合わせたメタルなメープルサウンドに伝わる、ハイゲージなオープンハンプキング。驚異の4弦サウンドシステムは多彩な音創りに可能。マイク=オープンハンプキングL-III×2 コントロール=ボリューム×2、トーン×2 シェロックSW付×2、3点SW×1 胴=メープル+マホガニー 指=メープル 指板=ストライプドエボニー 胴・指=セットネック
糸巻=ヤマダイタゲスト・トルク調整付 弦=スーパーストレイテージ/重量=4.3kg ¥70,000

SL-5005
奔放なチューニングが確実になす細心のフレット仕上げ。ロックの原点を踏えりワイルドに、パワフルに、攻撃的なフレーズで追もオープンハンプキング。マイク=オープンハンプキングL-III×2 コントロール=ボリューム×2、トーン×2、3点SW×1 胴=メープル+マホガニー 指=メープル/指板=ローズ 胴・指=セットネック
糸巻=ヤマダイタゲスト・トルク調整付 弦=スーパーストレイテージ/重量=4.3kg ¥50,000

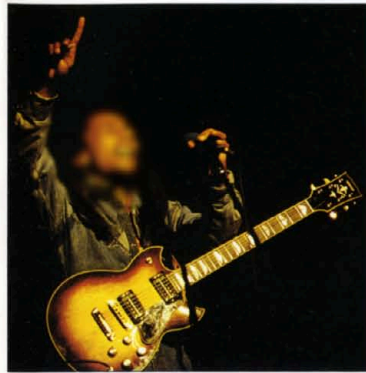


SL-6005
サステインの効きのよい音程感あふれるサウンドが身土。ライブステージで、スタジオセッションで、スタッフの信頼を一身に集めてしまうその高完成度。マイク=カバードハンプキングL-II×2 コントロール=ボリューム×2、トーン×2、3点SW×1 胴=メープル+マホガニー 指=メープル/指板=ローズ 胴・指=セットネック
糸巻=ヤマダイタゲスト・トルク調整付 弦=スーパーストレイテージ/重量=4.3kg ¥60,000

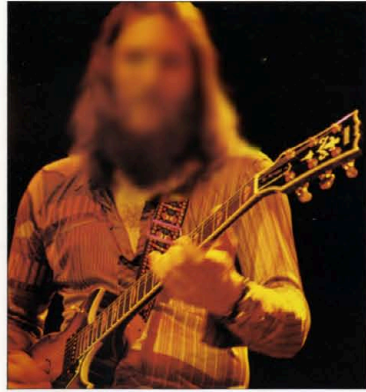
SL-4005
正統の手法を受け継ぐミニスト前出しボディの本格派。リッチなハンプキングサウンドがロック魂を根柢から揺るがさずギター必携のハイコストパフォーマンス。マイク=カバードハンプキングL-II×2 コントロール=ボリューム×2、トーン×2、3点SW×1 胴=メープル+マホガニー 指=メープル/指板=ローズ 胴・指=デタッチャブル
糸巻=ヤマダイタゲスト・トルク調整付 弦=スーパーストレイテージ/重量=4.3kg ¥40,000



YAMAHA CONNECTION II

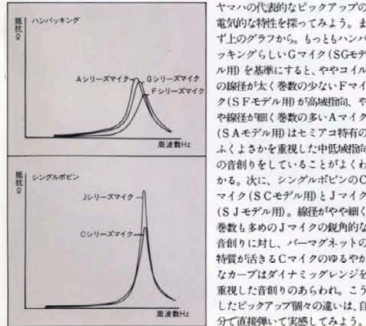


Bob Marley (B.M.W.) 1945年 英国 牙利の道化師化シママカ女性との間に生まれる。単なるミュージシャンという存在を超え、カリスマ的人物。「ラストマンバイブレーション」などの名曲、また数々の名作を発表。文字通りKing of Reggae。
●SG-1000



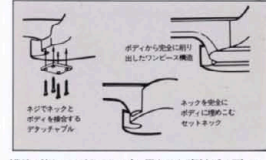
Steve Cropper 1941年シシペー生まれ。ギタリストとしてだけでなく、コンポーザー・プロデューサーとしても有名。60年頃、ブッカー・T&MGMSに参加。以後、スタジオミュージシャンとして、幅広く活躍。
●SG-2000

●ワイアリングフリークのためのピックアップガイド



ネックやフィンガーボードとして、フレットの仕上げにこそクラフツマンの意気込みがあらわれるというのだ。

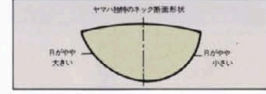
ネック材の性質も出る。メープルトップにメープルネックを組み合わせたモデルの音がメープルサウンド。マホガニーバックにマホガニーネックを組み合わせたモデルの音がマホガニーサウンドと呼ばれる。ネックの材質は音に出てくる。メープルネックはパンチのあるクリアな音が、マホガニーネックは甘く粘りのある音の魅力だ。そして、ボディとの接続方法は音と演奏性の双方に影響をもたらす重要なポイントだ。たとえばSG、SC、BB、SBシリーズの最高級モデルに採用されているワンピース構造は、メープルとマホガニーのコンビネーションでボディとネックを一体の削り出し、切れ目のない一体



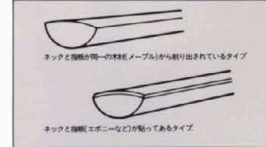
構造の超ロングサステインを。異なる素材がお互いに持ち味を出し密度の濃いサウンドを実現。演奏性の点でも申し分ないハイポジション部でのフィンガリングは驚異的にスムーズだ。ねじれや反りにも強い点も見逃がせない。先進のワンピース構造はダテじゃない。



ネックの断面形状にも注目して欲しい。1弦側のR(低)を6弦側のRよりも小さくした独特のツェグシェイプの断面形状を全モデルに採用。楽器に不可欠な弾きええを生む心地よい抵抗感とスムーズなフィット感を両立させるための入念設計がここにあります。

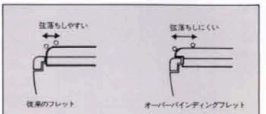


フィンガーボードも音を出す。ローズはメロウな、エボニーはブリリアントな、メープルはメリハリのあるタイトなサウンドが特徴だ。もちろんネック材との組み合わせも重要なポイント。いいネックとはいはいいフィンガーボード。その他のコンビネーションが絶妙なサウンドと演奏性をキープしてくれるというわけ。



ピックアップが違えばフレットも違う。ハンプキング系のモデルには2.7mm幅のフレットを採用。厚みのあるサウンドをさらにファットに。そしてシングルポリン系のモデルには2.0mm幅のフレットを採用。クリアなサウンドをさらにシャープなものに。負裁さで鳴らすクラフツマン、その心憎いばかりの配慮。

オーバーバイディングフレットに注目。ネックにバイディングが施されたモデルはすべてフレットを有効長いばいに延長。落落ちを防止し、チューニングやビブラートはより確実。さらによりスムーズなフィンガリングを可能にするために、フレットの打込みと表面仕上げに細心の注意が払われているんだ。



ブリッジでギター選びをするギタリストもいる。弦振動を最終的にボディに伝え、音の伸びやピッチを左右するブリッジは、パーツ群の中でも最も重要なものである。ヤマハでは、各シリーズの特性に合わせ、より微妙な弦高調整やオクターブ調整が可能なタイプを採用。さらにSG-2000ではサステインフレット内蔵の、SC、SJ、SB、BBの各シリーズではサステインブロック内蔵のブリッジが与えられている。



ギターづくりの現場をズームで熟写。



●ネック削り。スムーズなフィット感と弾きええを実現。楽器に不可欠な弾きええを生む心地よい抵抗感とスムーズなフィット感を両立させるための入念設計がここにあります。



●フレット仕上げ。フレットの打込みは音程に、仕上げは演奏性。両面を細心の注意で磨き上げ、仕上げは音程に、仕上げは演奏性。両面を細心の注意で磨き上げるわけに、ともに丁寧な手触りが実現される。



●塗装。丁寧に下塗りされたボディを乾燥室で100度で10分焼く。塗装ムラは音にも悪影響。美しいボディは細心の注意で磨かれる。